

08年度 中牟田杯会場における教育プログラム
実施報告書

一貫指導推進委員会 委員長 井上喜代志

11月1日から三日間中牟田杯教育プログラムを実施しました。各地域テニス協会のご理解、ご協力の下、それぞれの地域代表コーチを派遣していただき、無事終了することが出来ました。

この教育プログラムの主旨は、代表選手を選ぶトーナメントとしての有効性のみを求めたものではなく、大会を「競う場」「教育の場」として捉え、子供たちに今必要な情報を送り届けることにあります。特に、この年齢は、発達段階的視点から言えば、「プレ強化期」に向かって、将来を見通した人生設計を求める絶好の時期にあると考えています。ジュニア期での総決算と将来への設計を確認させるために、オンコートカリキュラムとレクチャを用意し、最終日の男女決勝戦観戦でプログラムを完了しました。

また指導体制という観点から、ナショナルチームと地域指導体制、あるいは直接的に全国から集まっている優秀ジュニアのホームコーチまで、縦の情報ラインを通し、NTCとホームコート間での相互情報交流も視野に入れたコーチミーティングも開催しました。

選手に対して実施したアンケートによれば、90%以上の選手から概ね好評という回答が寄せられました。また、日常ホームコートではなかなか得られない科学的な情報や、ナショナルコーチ、エリアコーチの講話などが、印象に残ったようです。オンコートカリキュラムでは、ゲーム分析を通して、自分の試合を客観視してゲームマネージメントをしっかりと出来るように指導しました。分析用紙に書き込みながらでしたが、人の試合をしっかりと見ることが今までなかったようで新鮮な体験をしたようです。今後この経験が生かされるよう期待しています。

各講習の要旨を報告します。全国のジュニア指導者の皆様、是非ご参考にして日常の指導に活かしてください。次年度は、講習を公開講座として実施する予定です。帯同コーチ以外の指導者の方々にもぜひご参加されますようお願い申し上げます。

以上